

HOSPITAL GUIDE

[大阪市民病院機構 病院ガイド]



大阪市立総合医療センター

〒534-0021 大阪府都島区都島本通2丁目13番22号 | TEL:06-6929-1221



Instagram

高度な医療技術を駆使し
46の診療科で市民のニーズに対応。

最新の医療機器と高度な医療技術を駆使して、24時間体制で救命救急医療を提供しています。また、各診療科で専門的医療を行い、特に「がん・心疾患・脳血管疾患」の三大疾患を中心とした高度医療に対応するため、臓器別に診療科が編成されているほか、ハイリスク周産期医療から小児科分野における高度医療、感染症医療にも取り組んでいます。常に市民のニーズに応えられるように、更なる病院機能の向上に努めています。

高度専門的医療の提供

- 救命救急センター(3次救急) ●小児救命救急センター ●日本医療機能評価機構認定病院 ●地域がん診療連携拠点病院 ●小児がん拠点病院 ●大阪府災害拠点病院 ●第一種・第二種感染症指定医療機関 ●総合周産期母子医療センター ●エイズ診療中核拠点病院 ●地域医療支援病院 ●産婦人科診療相互援助システム基幹病院 ●新生児診療相互援助システム基幹病院 ●臨床研修指定病院(基幹型) ●精神保健福祉法指定医療機関(緊急措置入院) ●母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する臨床研究施設 ●がんゲノム医療連携病院 ●大阪府難病診療連携拠点病院



高度な専門性により、数多くの学会からも施設認定を受けています。研修施設・教育施設として次代の医療を担う人材を育成する役割も担っており、多岐に渡る経験ができます。



大阪市立十三市民病院

〒532-0034 大阪府淀川区野中北2丁目12番27号 | TEL:06-6150-8000



Instagram

20の診療科を有する
地域密着型の急性期病院。

市民病院として地域の皆さまに寄り添い、信頼していただける医療の提供をめざしています。地域の医療機関からの紹介や二次救急の受け入れなど、高度な医療技術を必要とする検査や手術を提供するとともに開業医などと連携した全人的医療への貢献を果たしています。診療科間の垣根も低くアットホームな雰囲気も特色です。また内視鏡センターでの苦痛のない検査・治療を推進するなど患者さんから高い評価を得ています。地域住民のニーズに応えられるように常に病院機能の向上に努めています。

施設認定など

- 日本医療機能評価機構認定病院 ●救急告示病院(第2次救急医療機関) ●大阪府がん診療拠点病院 ●市町村災害医療センター ●新生児診療相互援助システム協力病院 ●赤ちゃんにやさしい病院(BFH) ●臨床研修指定病院(協力型)

地域密着型の中規模病院として、20の診療科を有しています。がんをはじめとした急性期医療ならびに結核医療などの専門的な医療の提供を行っています。



地方独立行政法人
大阪市民病院機構

〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
TEL:06-6929-3687 FAX:06-6929-7099
<https://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/>



RECRUIT BOOK

MEDICAL STAFF

医療技術職員・事務職員 募集案内



OSAKA CITY HOSPITAL



地方独立行政法人
大阪市民病院機構

| 大阪市立 総合医療センター | 大阪市立 十三市民病院 | 大阪市立 住之江診療所 |

Create Future Healthcare

笑いの大阪から未来の日本の医療をリードする

Innovating Together, Growing Together

さまざまな職種がある医療職。

どれひとつ欠けても、医療は成り立ちません。

わたしたちは職種を超えて連携し、

患者さんの生命と健康を守っています。

これからも未来の日本の医療をリードしたい。

共に挑戦、共に成長する

仲間を求めています。



大阪市民病院機構の基本理念

広く市民に信頼され、人間味あふれる
温かな医療を提供する病院をめざします

基本方針

1. 患者さんの健康に生きる権利と人間としての尊厳を尊重します
2. より安心で信頼できる良質な高度専門医療を提供するとともに、医療水準の向上へ貢献します
3. 大阪市の中核病院として、地域医療機関との適切な役割分担のもとに連携を強化します
4. 医療を支える優れた人材を育成します
5. 職員が意欲的に働くことのできる、働きがいのある職場環境を作ります
6. 継続して良質な医療を提供できるよう、健全な経営基盤の確立に努めます

大阪市民病院機構の「3C」



CHALLENGE

常に問題意識を持ち変化を恐れずに
目標に向かって行動できる人

COMMUNICATION

病院で働くすべての職員と協力し課題解決にあたる人

CREATIVE

既存の方法・慣習にとらわれることなく
自由な発想で仕事ができる人



01

人々の安心を守る
最後の砦(セーフティネット)

大阪市の中核病院として、
総合的かつ良質な高度専門医療を提供。
人々の健康と安心を守る
“最後の砦”として市民の信頼に応えます。

02

地域がん診療連携拠点病院
小児がん拠点病院

「地域がん診療連携拠点病院」と
「小児がん拠点病院」の指定を受け、
幅広い年齢層に対して
専門的で質の高い
がん医療を提供しています。

03

目標・目的に応じて選択できる、
充実の研修内容

経験年数や習熟度に応じた
教育制度が用意されています。
目標・目的に応じた研修を受講し、
確実にキャリア開発することができます。

薬剤師

患者さんと誠実に向き合う
質の高い薬剤師を育成。



INTERVIEW



遠藤さん
大阪市立総合医療センター
薬剤部 病棟部門
病棟 所属

薬学的な視点から、治療に貢献する。

多様な診療科と多数の拠点病院を有しているため、一般的な疾患から希少疾患まで、幅広い治療を経験できることが当院の魅力のひとつ。専門資格を持つ薬剤師が多数在籍していて、成長を支えてくれる心強い環境が整っているのも嬉しいポイントです。医師や看護師と連携し、チーム医療の一員として薬学的視点から治療に貢献できることに、大きなやりがいを感じています。

研修について

1 薬剤師レジデント 制度

平成27年4月より薬剤師実務研修生(レジデント)制度を導入しました。これは、調剤業務、臨床研究、病棟業務などの病院薬剤師業務の基本的な技術を身につけるとともに、高度医療に対応した臨床薬剤師業務およびチーム医療に貢献できる薬剤師の育成を目的とした制度です。研修期間は2年で、日本医療薬学会研修ガイドラインに基づいた独自プログラムによる研修を行います。

2 2年間の充実の カリキュラム

研修期間は前期(3ヵ月間)、中期(9ヵ月間)、後期(12ヵ月間)に分かれています。前期は調剤、注射調剤、TPN調製などのセントラル業務を中心に行い、病院薬剤師業務の基本的技術を習得します。中期は5つの診療科領域をほぼ2ヵ月間ごとにまわり、薬剤管理指導業務を実践的に習得します。後期は専門・認定薬剤師取得をめざし、専門領域での薬剤管理指導業務を学びます。

3 希望領域の 資格取得をめざす

薬剤部には、がん専門薬剤師、NST専門療法士、緩和薬物療法認定薬剤師、感染制御認定薬剤師といったさまざまな専門・認定薬剤師が在籍。後輩育成のために指導を行っており、希望する領域での資格取得をめざすことができます。さらに当院は日本医療薬学会より「がん専門薬剤師研修施設」に認定されており、がん専門薬剤師の研修も受けることができます。

レジデント研修で、 5つの診療科領域を経験できる。



医療技術職

医療を支えるプロフェッショナル。

医療技術職員は、各部門、各診療科で医療のスペシャリストとして業務に取り組んでいます。安心で安全な医療を提供するために、情報共有や勉強会、研修会、学会参加、資格支援などの活動を行っており、医療技術職員としての質の高い医療実践能力を磨いています。

医療技術職				
臨床検査部門	診療放射線部門	リハビリ・臨床工学部門	診療支援部門	臨床研究センター
臨床検査技師	診療放射線技師・ 医学物理士	理学療法士・ 作業療法士・ 言語聴覚士・ 臨床工学技士	管理栄養士・視能訓練士・ 歯科衛生士・社会福祉士・精神保健福祉士・ 公認心理師・保育士・医療保育専門士・ ホスピタルプレイスペシャリスト・ 介護福祉士・認定遺伝カウンセラー	臨床研究 コーディネーター

01

臨床検査部門 臨床検査技師

『安全・正確・迅速』の理念のもと、丁寧に業務を遂行。

検体検査、微生物検査、輸血検査など、多様な検査を院内で実施でき、なおかつ24時間対応できる体制を整えています。『安全・正確・迅速』を理念とし、精度管理および機器メンテナンスなど、日頃の管理業務を丁寧に行っており、国際規格「ISO15189」も取得しています。さらには、チーム医療の参画や認定資格のチャレンジなど、検査技師として専門性を伸ばせる環境を完備しています。

INTERVIEW



川崎さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部 臨床検査部門
検体検査 所属

業務を着実に習得することが、自信につながる。

多様な症例を経験できる機会に加え、経験豊富な先輩たちが親切にサポートしてくれるので、臨床検査技師の成長にとって最適な環境だと思います。新人教育にも力を入れていて、部門への配属後は先輩が丁寧な研修計画を立ててくれます。段階的な指導により、一つひとつの業務を着実に習得でき、研修終了後は自信を持って業務に取り組むことができます。

02

診療放射線部門 診療放射線技師

医療で求められる多種の放射線検査に対応する。

中央放射線部では、質の高い放射線診断画像提供のために、専門知識をもったスタッフが最新の機器を駆使し、放射線診断・治療業務を行っています。部署内だけでなく、一般病棟や救急などに出向いてのレントゲン撮影も行っています。採用1年目には、救急業務（X線撮影・CT撮影・血管撮影またはMRI検査）を習得し、その後も広範囲な技術を身につけられるように業務、研修に取り組みます。

INTERVIEW



板野さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部 診療放射線部門
放射線診断 所属

幅広い知識と技術を身につけられる環境。

当院には、多様な症例を持った患者さんや小児患者さんが多数来院されます。そのため、業務を経験する中で、幅広い医療の知識と実践的な技術を身につけられます。また、高い専門性を持つ先輩たちから直接アドバイスをいただけることも魅力的なポイント。患者さん一人ひとりの状態に合わせて、最適な撮影条件を調整し診断に貢献できたときや、患者さんから感謝の言葉をいただいたときに、仕事のやりがいを実感できます。



03

リハビリ・臨床工学部門 理学療法士

チーム医療の一員としてのリハビリテーション。

患者さんの身体機能の回復や、ADL（日常生活動作）、QOL（生活の質）の向上をめざして、早期からリハビリテーションを実施します。運動器、脳血管、呼吸器、心臓大血管、廃用などに問題を抱えた、多種多様な患者さんに対応するため、幅広い知識と技術が必要とされます。

INTERVIEW



東野さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
リハビリ・臨床工学部門
リハビリテーション 所属

幅広い知識と技術で、患者さんの回復に貢献。

領域ごとの専門性の高いスタッフから指導を受け、多様な疾患を抱えた患者さん一人ひとりに寄り添っていくことで幅広い知識と技術が身についていきます。学んだことを活かし患者さんの回復に貢献できたときには、大きな達成感が得られます。優しい先輩たちのサポートを受け、一つひとつ知識と技術を身につけ、着実に成長・自立していけるので、安心して日々の業務に取り組むことができます。



04

リハビリ・臨床工学部門 作業療法士

患者さんの日常復帰を目指し、リハビリテーションを提供する。

脳卒中や骨折、小児疾患、がんなど、幅広い疾患を持つ患者さんを対象に、日常生活動作の回復と自立を支援しています。早期から個別的なリハビリテーションを提供し、食事や着替えなどの基本動作、家事や職業に特化した訓練を通じて、単なる身体機能の回復だけでなく、患者さんの家庭復帰や職業復帰を目指します。

INTERVIEW



中原さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
リハビリ・臨床工学部門
リハビリテーション 所属

多種多様な領域で、高い専門性を発揮できる。

当院は高度医療を提供しているため、ICUやHCUでの治療に携わる機会があります。また、各領域の専門医療機関として、小児、がん、手外科、救命救急など、多岐にわたる専門分野で患者さんの回復をサポートしています。患者さんと一緒にリハビリに取り組み、「できるようになった」と報告を受けたときの喜びは何にもかえがたいです。福利厚生も充実しており、患者さんの人生に寄り添いながら、自身のキャリアも大切にできる職場だと感じています。



05

リハビリ・臨床工学部門 言語聴覚士

他職種と連携し、言語と聴覚のリハビリを行う。

成人言語領域、小児言語領域、聴覚領域の各領域を横断しながら入院・外来患者への対応を行っています。急性期リハビリテーションに特化し、病気や事故で損なわれた言語コミュニケーション機能の評価・訓練に携わるほか、小児の言語発達支援、人工内耳術後の補聴器を用いた聴覚言語訓練など、様々な業務を行っています。

INTERVIEW



坂さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
リハビリ・臨床工学部門
リハビリテーション 所属

複数の領域で、専門性を高められる。

当院の魅力は、単一の専門領域にとどまらず、多様な分野を幅広く学べる点です。入職後、最初は成人言語領域に配属されましたが、1年目の冬から現在に至るまで、言語と聴覚の両領域を柔軟に行き来しています。曜日や時間によって活動領域が変わるこの環境は、幅広い知識を求める私にとって理想的です。小児や聴覚という専門性の高い分野で経験を重ね、チーム医療の最前線で患者さんとそのご家族に寄り添える、やりがいに満ちた職場だと感じています。



06 リハビリ・臨床工学部門 臨床工学技士

全国有数の手術件数を支える
医療機器のスペシャリスト。

重症病棟業務、人工心肺業務、TAVI業務、アブレーション業務、心臓カテーテル業務、血液浄化業務、内視鏡業務、ME業務、手術センター業務、SPD業務などを行います。これら業務で医療機器を操作するほか、医療機器の保守・点検を通して、治療の安全性確保にも貢献しています。

INTERVIEW



渡辺さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
リハビリ・臨床工学部門
臨床工学 所属

多様な医療機器を扱い、
専門性を高めていく。

臨床工学技士として、他職種と協力し患者さんの最適な医療を追求しています。手術件数が多く、多様な医療機器を扱うことで、専門性を高められる環境が魅力です。入職後も、オリエンテーションや研修を通じて、自身のキャリアデザインを主体的に考える機会があり、日々成長を実感できる職場です。



08 診療支援部門 視能訓練士

幅広い年齢層の眼科検査を行う。

眼科と小児眼科があり、新生児から高齢者までの幅広い年齢層の眼科検査を行っています。他施設では経験できないような乳幼児の検査もあり、視能訓練士として技量を高めることができます。視能訓練士の重要な業務の一つである、脳神経外科の手術前後に行う動的視野検査も数多く行っています。

INTERVIEW



中さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
診療支援部門
視能 所属

専門性の高い症例について、
実践を通して学べる環境。

視力検査や視野検査、蛍光眼底撮影などの眼科検査を行っています。他院では対応困難な症例も多く、専門性の高い小児の斜視・弱視検査について実践を通して学ぶことができます。院内セミナーやeラーニング、学会参加支援制度を通して、常に最新の医療知識に触れられるのもありがたいです。先輩や眼科医師へ質問しやすい環境も整っています。

07 診療支援部門 管理栄養士

他職種と密に連携しながら、栄養管理に取り組む。

食事は治療の一環であるという考えから、安全で美味しく治療効果の高い食事を提供し、医師・看護師の協力のもとチーム医療で患者さんの栄養状態の改善に取り組んでいます。入職初期の研修では栄養指導見学や業務の流れを学ぶことから始めています。

INTERVIEW



中村さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
診療支援部門
栄養 所属

日々勉強を重ね、
患者さんの栄養状態を改善。

患者さんへの栄養管理と指導を通じて、日々成長できる魅力的な仕事です。多様な症例に関わり、先輩や他職種と協力しながら患者さんの栄養状態改善に取り組めます。入職後は丁寧な研修で着実に専門性を高めていくことができます。患者さんの笑顔と「ありがとう」の言葉が、何よりの喜びとやりがいです。



09 診療支援部門 歯科衛生士

口腔ケアを通して、患者さんをサポートする。

当院の歯科衛生士は、さまざまな疾患を持った入院患者さんに安心して治療を受けてもらうため、他職種と連携し、口腔ケアの専門的知識を発揮することが求められます。それらの能力を養うため、院内研修やセミナーなどに参加し、知識を深めています。

INTERVIEW



小森さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
診療支援部門
歯科衛生 所属

日々の業務を通じて、
口腔ケアの奥深さを実感。

当院は、複雑な症例や多様な患者さんへの対応を通じて、専門性を磨くのに最適な環境です。他職種と連携しながら患者さんの治療をサポートする中で、口腔ケアの奥深さを日々実感しています。周術期口腔ケア、矯正歯科、院内講義など、幅広い業務を経験することで全身疾患に関する知識も深められることも大きな魅力だと思います。





10 診療支援部門 精神保健福祉士

国家資格の専門職として、患者さんの自立をサポート。

精神に障がいのある患者さんの社会生活を支援する国家資格の専門職として、精神科患者さんの医療や生活支援に携わり、身体合併症の対応や地域移行支援を行います。他職種と連携しながら、患者さん一人ひとりの状況に寄り添い、社会復帰と自立を包括的にサポートします。

INTERVIEW



内野さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
診療支援部門
福祉 所属

社会復帰だけでなく、
再発防止まで見据えた支援を。

患者さんのサポートを行う中で、早期退院を目指すだけでなく、再発防止と継続的なフォローを重視しています。初回面接で課題を抽出し、理学療法士と連携するなど、他職種と協働し、個々の患者さんに最適な地域移行支援を行います。メンタルヘルスの複雑な課題に対し、入院前の生活背景を踏まえた包括的なアプローチで、患者さんの社会復帰をきめ細かく支援しています。



12 診療支援部門 保育士

医療環境だからこそ求められる保育士の専門性。

入院中の子どもたちの心と体の成長をサポートします。遊びを通じて子どもたちの不安を和らげ発達を促進したり、おむつ交換や食事介助などの生活援助を行い子どもが安心できる環境づくりに努めています。限られた医療環境だからこそ、保育士の専門性と創造性が求められる重要な仕事です。

INTERVIEW



河内さん
医療技術部
診療支援部門
保育 所属

創意工夫を凝らして
子供たちが楽しめる環境づくりを。

車いすやベッド上安静など、制限された環境での遊びの提供には、工夫が求められますが、子どもたちの笑顔と元気な姿を見られたときの喜びはひとしおです。先輩方のサポートと研修を通じて、子どもたちに寄り添い、入院生活を少しでも楽しいものにできるよう、日々奮闘しています。子どもたちの頑張りに励まされながら、保育士としての使命に向き合っていきたいと思っています。

11 診療支援部門 公認心理師

他職種と連携・協働し、心理的支援を行う。

公認心理師は児童青年精神科、精神神経科(成人)、周産期、精神科リエゾン、認知症ケア、緩和ケア、遺伝カウンセリングなど、さまざまな領域で他職種と連携・協働しています。患者さんのお話に耳を傾け、気持ちに寄り添う事で入院生活を専門職として支えます。

INTERVIEW



井口さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
診療支援部門
心理・遺伝 所属

幅広い業務で
専門性を活かせる。

複数の診療科と連携し、幅広い業務に取り組んでいます。患者さんへの心理面接や心理検査だけでなく、チームの一員として様々な場面で専門性を活かせる点が魅力的です。先輩心理師によるサポートも手厚く、困ったときはすぐに相談できるので安心して働けています。患者さんが回復し、前を向いて進んでいく姿が見られた時に、この仕事のやりがいを感じます。



13 診療支援部門 介護福祉士

患者さんを身体面と精神面の両側から支える。

高齢者や障がいのある患者さんの日常生活のサポートを行なっています。車いすやベッドの移動などの補助業務から、入浴や排泄、食事などの身体介助まで、幅広いケアを提供します。身体的なサポートだけでなく、患者さんの話に耳を傾け、気持ちに寄り添いながら、環境整備や精神的なケアも大切にしています。

INTERVIEW



池ノ上さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部 診療支援部門
介護 所属

安心して働ける
サポート体制と環境。

当院では他職種との連携が密に行われているため、患者さんの入院生活、介助や生活面で、質の高いサポートをチームとして行えます。新人教育も充実しており、マンツーマンでの指導や、チームでのサポート体制が整っており、病院勤務未経験からでも安心して働くことができます。公休や有給が取りやすく、子育てや家族の介護をしながらでも、安心して働くことができる環境です。



事務

専門性を活かして
患者さんと病院を支える。

医療事務や総務、財務といった業務を担当します。医療事務は、病院の主な収入源である診療報酬請求を始めとした、一般企業にはない病院特有の事務業務を行います。総務業務は、職員の採用や退職、給与・福利厚生、広報を含む対外的な業務など、幅広い業務を行います。財務業務は、予算案の策定、資金管理から物品の調達まで、経営資源である「お金」と「モノ」を通じて、病院運営を支える業務です。地域の皆さまと医療スタッフを円滑に結び支えることができるよう、日々の業務を事務職員皆で協力して行っています。

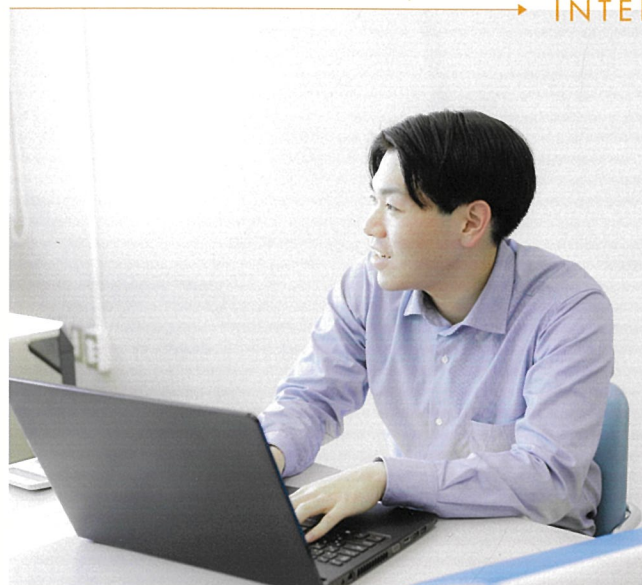


01 事務 事務総合職

病院経営・運営をリードする。

事務総合職は、患者さんを始めとした病院外部の人々と医療機関をつなぎ、病院経営・運営をリードする仕事です。外来・入院での会計計算業務、レセプトのチェックや返戻対応など、診療報酬に関わる複雑な業務を遂行します。そのほかにも、経理や企画、人事・労務、教育研修、情報システムなど、幅広い業務をカバーしています。

INTERVIEW



事務総合職 山崎さん

大阪市立総合医療センター
医事・医療情報部 医事課 外来会計 所属

患者さんと医療従事者をつなぐ
重要な役割。

大阪市の中核病院である総合医療センターで、約2000名の患者さんの会計を10名弱のスタッフで支えています。待ち時間短縮を目標に、チームで協力し合いながら業務に取り組んでいます。入職1年目は他部署の役割を学ぶ研修があり、最先端医療や多職種連携について幅広く学べます。医療事務は患者さんと医療スタッフをつなぐ重要な役割です。コミュニケーション能力を磨きながら、チーム医療の一員として成長していきましょう。

事務総合職 小松さん

大阪市立総合医療センター
総務部 総務課 庶務 所属

医療現場の一員として、
チーム医療に貢献。

事務総合職の仕事は、医療スタッフのサポートを通じて、患者さんと病院に間接的に貢献できるやりがいのある仕事です。職種別に細かく設計された新人研修により、必要な知識を着実に習得できるようになっているので、安心して仕事にのぞむことが出来ます。単なる事務作業ではなく、医療現場の一員として、専門性を発揮しながら成長できる仕事です。医療の最前線で、チーム医療に貢献する喜びを日々感じています。



1 研修について

当院の研修制度は、事務総合職は入職1年目は毎月各部署の研修があり、2年目以降もe-Learning形式の研修を実施しています。医療アシスタントは入職後6ヶ月間は診療支援センターによる定期的なフォローアップがあり、業務の進捗や課題を確認し、具体的な改善策の指導を受けられます。

2 働く環境

先輩や同僚との活発なコミュニケーションが大切にされているので、不安や疑問があればいつでも相談でき、他職種とも垣根なく連携できる環境が整っています。また、やりたいことへの挑戦を応援する風土があるので、成長していくのうってつけの環境です。

3 入職の決め手

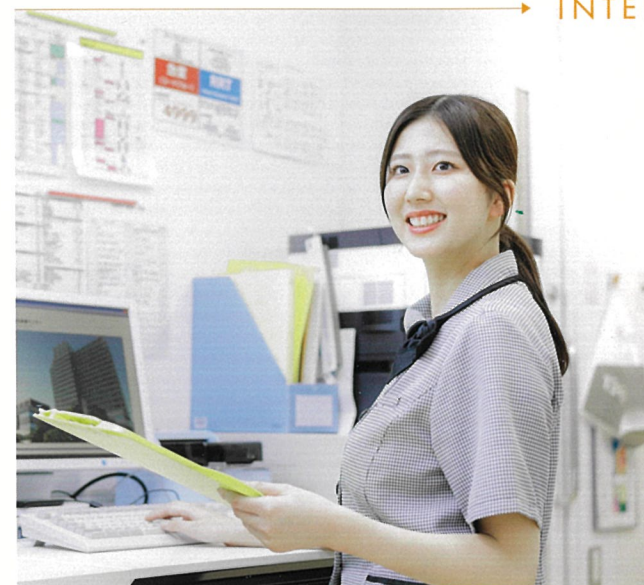
高度な医療に携わり、多くの人々の健康と生活に貢献できる点や、総合病院ならではの幅広い経験ができること、学生時代に学んだ知識を活かせる環境、さらに充実した福利厚生などが、当院への入職の決め手として多く挙げられています。

02 事務 医療アシスタント

サポートを通じて、現場の医療を円滑に。

医療アシスタントは、医療現場で医師や看護師をサポートする役割を担っています。外来では、カルテ入力、予約管理、患者呼び込み、診断書の下書き作成などを行います。病棟では、入退院時の準備、患者案内、書類処理、検査や処置の確認、医療物品の管理などを担当し、医療スタッフの事務的負担を軽減し、円滑な医療提供に貢献しています。

INTERVIEW



医療アシスタント 堀内さん

大阪市立総合医療センター
医事・医療情報部 診療支援センター 所属

患者さんの笑顔が、
仕事の原動力。

この仕事の魅力は、患者さんと家族に貢献できる喜びと、チームの一員としての達成感にあります。入職時点では医療知識がない人でも、日々の業務を通じて学び、成長できる環境が整っています。先輩から直接指導していただく中で、効率的な業務遂行を学べ、患者さんや医療スタッフの役に立つ実感が得られます。回復した患者さんの笑顔や感謝の言葉、家族に安心を届けられる瞬間にやりがいを感じます。みなさんと共に成長できることを楽しみにしています。

医療アシスタント 井上さん

大阪市立総合医療センター
医事・医療情報部 診療支援センター 所属

仕事を任せてもらえたときに、
成長を実感できる。

医療アシスタントは、医師、看護師、患者さんと密接に関わる、やりがいに満ちた仕事です。外来では陪席業務補助に重点を置きながら、病棟では入院生活を支える一員として、他職種と効率的に連携しながら仕事を進めていきます。1対1の丁寧な研修と診療支援センターのサポートにより、不安なく成長できる環境が整っています。任される仕事が増えるにつれ、自分の成長を実感でき、医療チームの一員としての喜びを感じられます。多様な業務に携わる中で、大きな充実感が得られる仕事です。

